

FD委員会 2018年度総括（自己点検・評価）

FD委員長 渡邊浩文
教務学生課長 目黒裕二

1. 2018年度目標の達成状況・主要計画の実施状況

(1) 教員の資質向上事業【学長諮問事項】※

事実の説明	<ul style="list-style-type: none">・情報サービスセンター、ウェルネスセンター、教務委員会等と共催し FSD 研修会を5回実施した他、新任教員研修会を実施した。・教育部門及び研究／社会貢献部門に関する教員評価を実施するとともに優秀教員の表彰を行った。・研究／社会貢献活動における優秀教員表彰の評価項目の見直しについて、FD企画部内にWGを立上げ着手した。
自己評価	<ul style="list-style-type: none">・FSD研修会の実施や優秀教員表彰など教員の資質向上施策については、実施できたと判断している。

(2) 教育、研究環境の整備事業【学長諮問事項】※

事実の説明	<ul style="list-style-type: none">・前・後期共にLMSを活用した授業評価アンケートを実施し結果を公表した。また、評価の低い教員には、授業改善報告書の提出を要求し授業改善に努めた。・大学評価アンケート並びに大学院評価アンケートについては、例年2月の成績発表時に実施していたが、多くの学科がポータルサイトによる成績発表に変更したことに伴い、アンケートも紙ベースからLMSに変更し実施した。・各科目の成績評価分布を学科長に配信し、学科内FD研修への活用を促した。
自己評価	<ul style="list-style-type: none">・例年同様、授業評価アンケートおよび大学評価アンケートについては実施できたが、LMSを活用し実施した結果、回答率の低下が問題となった。

(3) FD活動の全学的高揚事業

事実の説明	<ul style="list-style-type: none">・FSD研修会等の参加率向上のため、全ての研修会においてビデオ撮影を行い、情報サービスセンターの協力を得て、欠席者や振返りのためにLMSで動画視聴を可能とした。
自己評価	<ul style="list-style-type: none">・研修会の参加率向上のための施策は実施できたと判断している。

2. 課題および改善・向上の方策

- ・LMSによる授業評価アンケート・大学評価アンケートの回答率の低下。
- ・研究業績一覧未入力教員への対応。
- ・本学ホームページにおける情報公開の継続。

3. 特記事項

(1) 計画外の特筆すべき取組等：なし

(2) 外部評価または指摘等：なし